



保育理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、地域の多様な子育ての要求を受け止め助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべてのものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

保育目標

- 1、人格を尊重し、一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを協同する
- 3、保育園の社会的役割をはたす

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

ある日のエピソード

園庭から帰ってきて、入室後…なかなか着替えに気持ちが向かないあひるさん達。その時、ゆきさんが

「今日はヒマワリのたねをうえるよ」というと、急に真顔になり急いで黙々と着替えを始めるあひる組さん達。

着替えてからみんなでたねを植えて部屋に戻ると、まゆみさんに

「たねがしろかった！」「ちゃいろだった。」「みずをあげるとさくんだよ」と、報告をしていました。すると、○君が「もう、さいたかなー？」と言って、もう一度見に行っていたそうです。

(あひる組保育士から聞き取りました)

先日、世田谷区の職員の方の巡回指導がありました。世田谷区では、毎年200以上ある全部の私立保育園を回って、区として保育の質を守る体制を整えてくれています。毎年、言われるのですが「大人の声が聞こえてこないから全体的に静かです」「子どもたちが落ち着いていて、集中して遊んでいます」と、今回も職員の方に褒められました。

私たちは、子ども達が主体的に自分で考えてやりたい遊びができるように一斉に声をかけることをあまりしていません。何か、子どもに伝えることがあるときには、その子だけに聞こえるように話しています。(幼児になると一斉指示による行動も必要になるので、そのような経験も取り入れています)

今年度、世田谷区では「世田谷区保育の質ガイドライン」が新しくなりました。保育園での不適切保育の防止の為、より子どもの人権を守るための具体的な内容がたくさん書かれています。次のページにこのガイドラインの「わたしとの8つの約束」という前文ともいえるような部分を紹介します。私たち職員もこのガイドラインを活用し、今後も「子どもにとってどうか？」ということが一番に考えていける保育を目指したいと思います。

園長 真鍋 桂子

今月の予定

- 5日(木) 眼科診断(全員)
- 6日(金) ひよこ組 懇談会
- 7日(土) 幼児 親子で遊ぼう会 日本女子体育大学の体育館
- 8日(日) 鳥山児童館のイベント「すくすくメッセ」
- 10日(火) 4, 5才児 じゃがいも掘り 雨天 13日(金)
- 12日(木) 健康診断(全員)
- 18日(水) 身体測定(幼児) 19日(木) 身体測定(乳児)
- 19日(木) 耳鼻科健診(全員)



わたしとの8つの約束

～世田谷区保育の質ガイドライン～

人生のはじまりの時間にいるわたしは
「なにしょっかな？」でいっぱいです。

- ・ わたしをかけがえのない一人の人として大切にしてください。
- ・ わたしの気持ちをきいて、受け止めてください。
- ・ わたしを選ぶのを待ってください。
- ・ いろいろな文化や心・からだなど、どんなわたしであっても大切にしてください。
- ・ わたしにとってもっともよいことは何かを考えてください。
- ・ 失敗したり、立ち止まったり、休んだり、ゆっくり進んだりする、そのままのわたしを見守って、かかわってください。
- ・ わたしの家族も大切にしてください。
- ・ わたしらしく育っていくことを支えてください。

今日も楽しかったね。明日もなんかいいことがあるかな。



【世田谷区 保育の質ガイドラインより】